

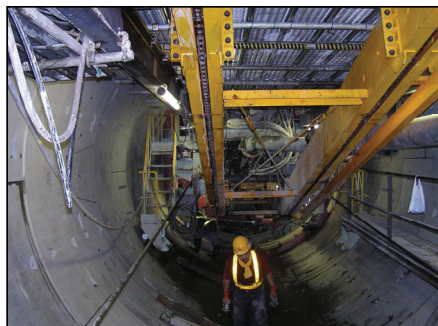
16.試験工事（泥土圧シールド排泥処理工事）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	基礎杭工事排泥	泥土圧シールド排泥
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	原泥 100% → 貯泥・調泥後 50~60%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	試験工事
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	10kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量 (kg)	100kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	20m ³	日最大施工量		
	総量 (m ³)	60m ³	処理機構成	25m ³ 機セバレート	

【概要説明】

首都圏においては、泥土圧シールド工事から排出される大量の掘削土砂を中間処理するための施設が減少していることから、有効利用に対する機運が高まりつつある。

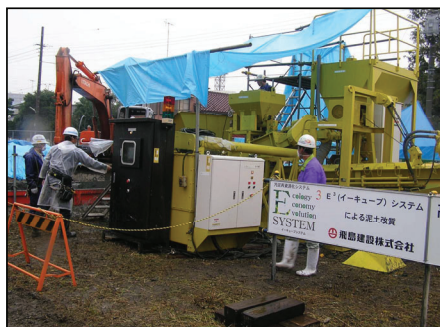
そこで、発注機関、コンサルタントに向けて試験工事を実施し、その有用性について提起した。



泥土圧シールド内部状況



掘削土砂搬入状況



処理プラント全景



処理土排出状況